

金融面の取組み

地域密着型金融の推進

「健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する」を経営理念とする当行は、常に環境変化を先取りし、質の高いサービスの提供を通して、地域発展に寄与することを目指しています。

人口減少や地方経済の成長率低下など社会構造・経済構造の変化がますます進み、地域経済においてもその影響を大きく受けています。こうした状況を踏まえ、お客さま、地域経済の持続的な発展を目指し、第30次長期経営計画(平成27年4月～平成30年3月)を進めてきました。

◆ 基本方針

当行では、長期経営計画を着実に進めることが地域密着型金融の推進そのものであると位置づけ、取り組んでいます。テーマと主要施策は長期経営計画で明示し全行へ周知のうえ、推進しています。

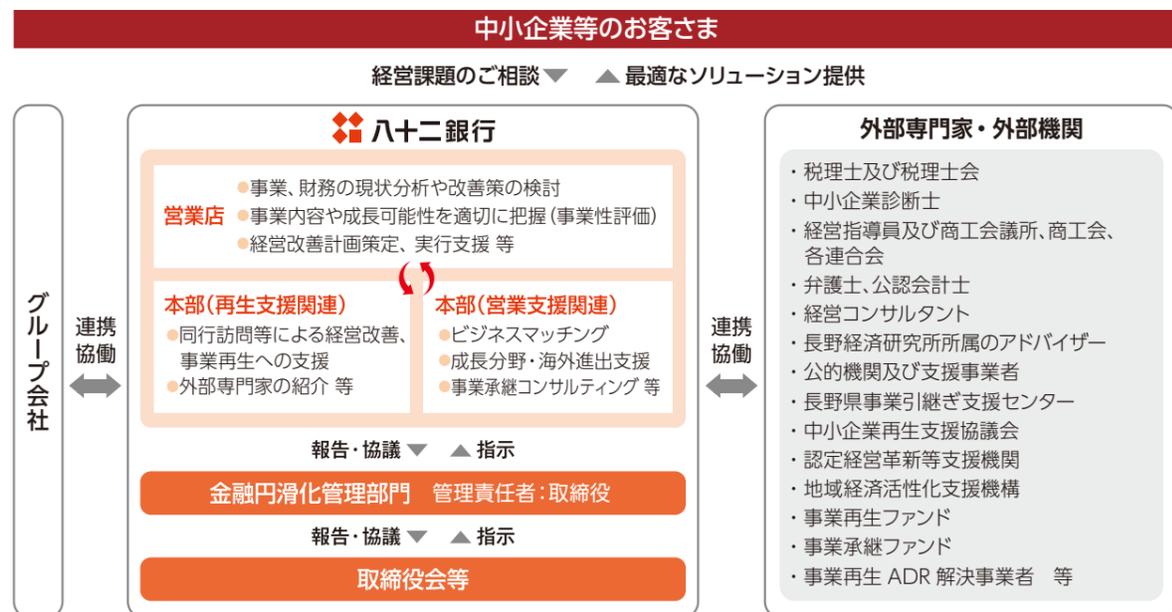
また、「八十二銀行の金融円滑化への取組方針」(*)を定め、お客さまの資金需要やお借入条件の変更などのご要望について対応しています。

※「八十二銀行の金融円滑化への取組方針」はホームページで公表しています。

<https://www.82bank.co.jp/law/facilitation/index.html>

◆ 態勢整備の状況

当行では、営業店と本部が連携し、グループ会社や外部専門家・外部機関などの幅広いネットワークを活用してお客さまの経営課題の解決に取り組んでいます。



◆ 主な取組項目(平成29年度)

企業のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

(1) 起業・創業支援への取組み

- 第30次長期経営計画の主要施策「地域産業競争力の強化」の目標値として、長野県創業支援先数を3年間で600先と決めました。平成29年度は251先(3年間累計749先)の創業を支援しました。
- 起業・創業に関心のあるお客さまをワンストップかつスピーディーに支援しています。「信州ベンチャーサミット2018」の開催により長野県内の創業気運を醸成するとともに、フェイスブック、グーグルにてSNS広告を発信し、長野県内での創業を希望する県内外のお客さまを幅広く支援しています。



(2) 成長段階における支援への取組み

- お客さまの発展、地域経済の活性化のため、国内外における各種商談会の企画・開催による販路開拓支援など、多様なビジネスマッチングの機会を提供しています。平成29年度のビジネスマッチング成約件数は1,807件となりました。
- 平成29年7月には、「ビジネス・サミット2017～東海・北陸『食』の大交流会」に共催参加し、当行の出展企業9社の商談をサポートしました。
- 「省エネ補助金活用セミナー」を県内5会場で開催し、省エネルギー投資を予定するお客さまに対し情報提供を行うとともに、補助金申請のサポートを行う事業者をご紹介しました。



- 海外進出にあたっての資本金や、現地法人の設備投資、貿易代金の決済などの資金ニーズに、さまざまな方法でお応えしています。平成29年度のお客さまのグローバル展開に伴う融資実行件数は271件となりました。香港支店では、タイバーツ建、人民元建ご融資の取扱いなど、東南アジアや中国本土のお客さまに向けた直接融資(クロスボーダー融資)にも対応しています。

